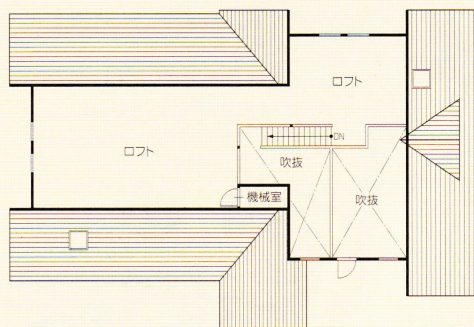
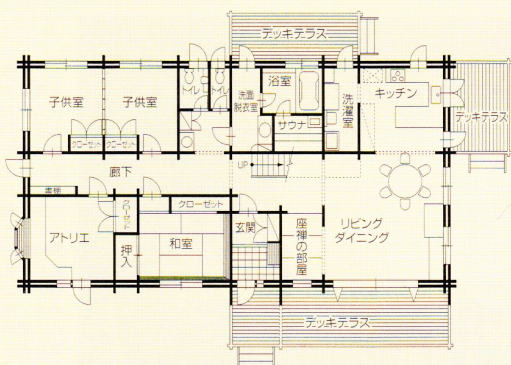




右頁上／夕暮れの迫る「むらトピアログホーム」。
 右頁中／デッキの板張り、窓枠の塗装など日曜大工程度なら全て自分でやるというオーナーのYさん。瓦の焼き方・配置から太陽光発電機の設置と長期にわたるデータ収集、浄化槽の排水を家庭菜園に使うアイデアなど、専門家顔負けの能力を発揮された。
 右頁下／ファサード。周囲のハーブの香りと色彩が鮮やか。「ハーブがあると他の雑草が余り生えないんです。手を加えずにおいたらここまで成長してくれて」と奥さん。
 上右／外壁の周囲の部分。フィンランドなどでは一般化しているログの2重構造。間に充填されるバーライトのもつ調湿作用で梅雨時でも湿度は75%程度。室内で洗濯物が乾くと奥さんの喜びの一つ。もちろん結露はなし。
 上左／二階階段部分からリビングを見る。右手の和室は「座禅の間」。

未来実験住宅



図面データ

敷地面積：1202㎡
 延べ床面積：237㎡
 総工事費：3,708万円(本体価格)
 構造：木造丸太組み